事業説明会資料　令和７年4月25日

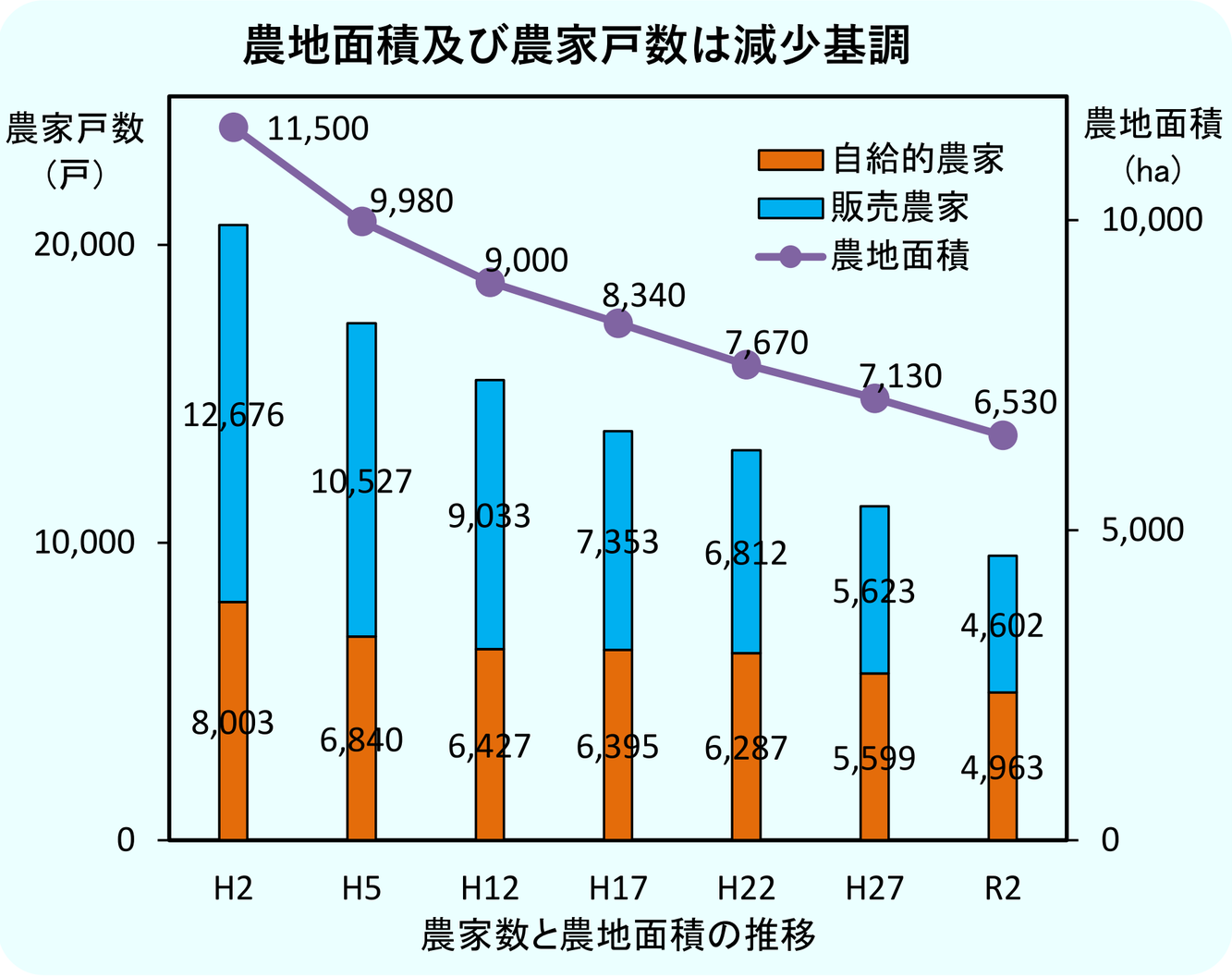
東京農業アカデミー八王子研修農場

～　東京農業の活性化と持続的発展のために！　～

農業技術や経営ノウハウ等の習得を中心に農外からの新規就農者を育成

（公財）東京都農林水産振興財団
東京農業アカデミー八王子研修農場
農場長　　小寺　孝治

担い手の確保・育成の必要性 ①



現 状

○ 販売農家の戸数は5年間で約1000戸減少

およそ200戸/年減少

高齢化の進行と低利用農地の増加

○ 農外からの新規就農希望相談者は増加傾向

300件以上/年(R3)

○ 新規就農者数　559人(H21～R2※)

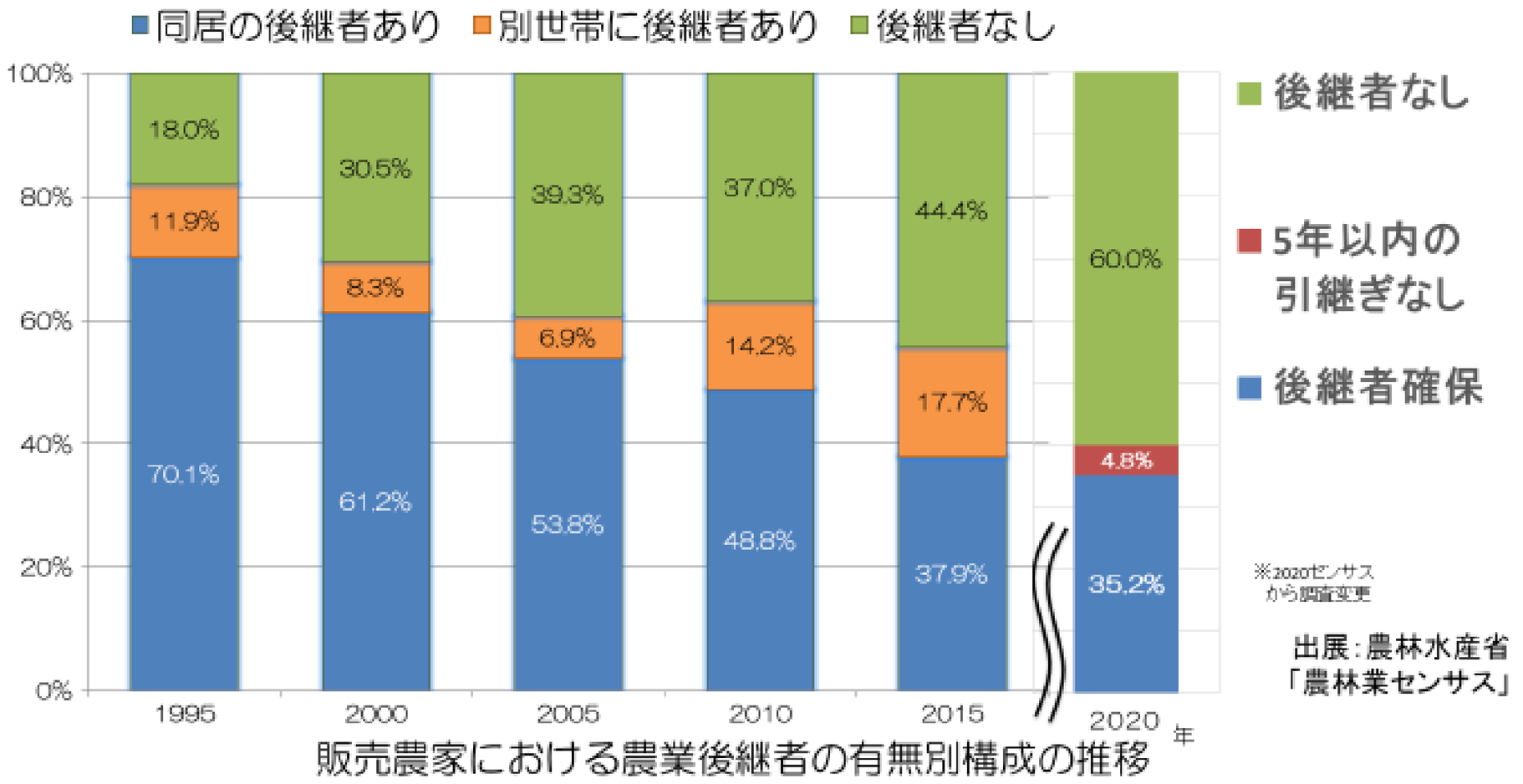
※新規参入108（約9人/年）、親元就農は451人

財団「新規就業者奨励賞」等のデータより

約47人／年

担い手の確保・育成の必要性 ②

○ 農業後継者の有無



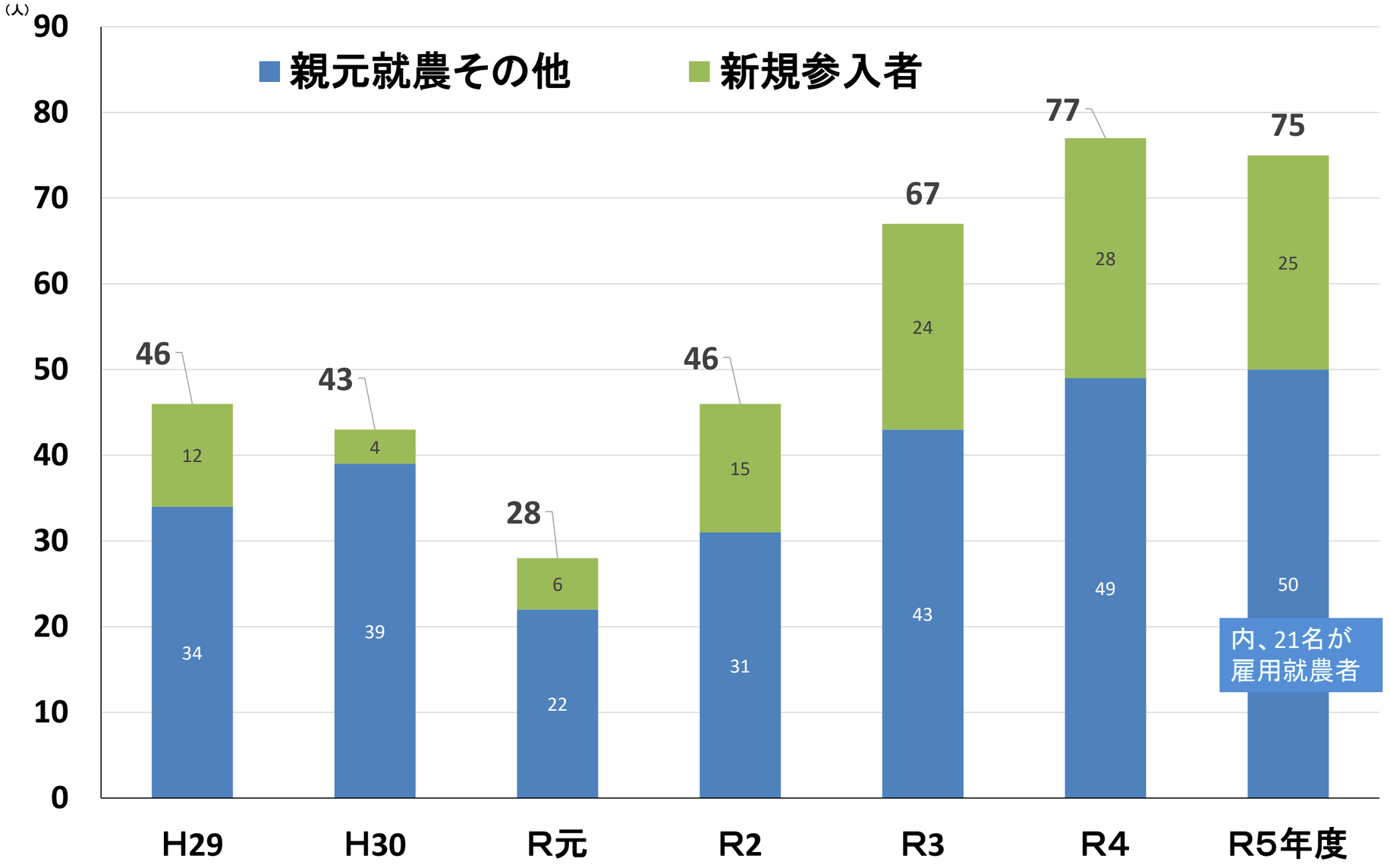
販売農家における農業後継者の有無別構成の推移

＜参考＞
基幹的農業従者の平均年齢

65.6歳
(男64.2)
(女67.9)

- 販売農家のうち同居の後継者がいる割合は毎年減少し、現在（2015年）**全体の４割以下**
- 一方、後継者なしの農家は増加し、全体の**半数近く**を占める

新規就農者数の推移



- 東京の新規就農者は、<u>年平均50人</u>で推移し、<u>増加傾向</u>
- 新規就農者うち、親元就農者（雇用含む）の割合は全体の約６割程度を占めているが、農外からの<u>新規参入の割合は1～４割程度で</u>、<u>年々増加</u>傾向

資料：東京都農林水産振興財団

（参考）全国の就農形態別新規就農者数

単位：人

区分（就農時）	計		新規自営農業就農者		新規雇用就農者		新規参入者*	
	R２	R３	R２	R３	R２	R３	R２	R３
男女計	53,740	52,290	40,100	36,890	10,050	11,570	3,580	3,830
49歳以下	18,380	18,420	8,440	7,190	7,360	8,540	2,580	2,690
15～19歳	990	910	290	200	690	700	10	10
20～29	5,480	6,100	2,190	1,930	2,810	3,700	480	470
30～39	5,810	5,740	2,740	2,480	2,000	2,170	1,070	1,080
40～49	6,110	5,680	3,230	2,580	1,860	1,970	1,020	1,130
50～59	7,300	5,880	5,620	3,870	1,220	1,470	460	540
60～64	9,030	9,760	8,050	8,700	780	820	200	240
65歳以上	19,030	18,230	17,990	17,130	700	740	340	360

＊新規参入者： 土地や資金を独自に調達

農水省：令和３年新規就農者調査結果より

新規就農者の就農理由（３つ選択）

自然・環境	農業が好きだから　36.4% 自然や動物が好きだから　20.1% 農村の生活（田舎暮らし）が好きだから　15.7%
安全・健康	食べ物の品質や安全性に興味があったから　17.0 % 有機農業をやりたかったから　10.8
家族・自由	時間が自由だから　28.3% 家族で一緒に仕事ができるから　15.1% 子供を育てるには環境が良いから　10.5% 配偶者が農業を始めたから　2.0%
経　営	自ら経営の采配を振れるから　51.6% 農業はやり方次第でもうかるから　35.2% 以前の仕事の技術を生かしたいから　7.9%
消極的	会社勤めに向いていなかったから　22.1% 都会の生活が向いていなかったから　5.2%

n ＝2,134人　（令和3年度）新規就農者の就農実態に関する調査結果より

就農時の苦労等

「農地の確保」	**72.8%**
「資金の確保」	**68.6%**
「営農技術の習得」	**57.7%**
「住宅の確保」	23.3%
「地域の選択」	17.1%
「相談窓口さがし」	15.0%
「家族の了解」	11.5%
「その他」	11.1

アカデミーでは上記も踏まえて
※人脈づくりと人間力の向上に努めながら研修を実施

東京農業アカデミー八王子研修農場事業の目的

東京農業の活性化と持続的発展のためには、**次代を担う農業後継者や農外からの新規就農者の確保と定着が不可欠**

これまで都には、農外からの新規就農希望者が農業の技術や経営に必要な知識を学ぶ施設がない状況

そこで、**東京農業の新たな担い手の確保・育成を図るため、**令和２年度から**就農希望者が実践的な栽培技術や農業経営に関する知識を習得するための研修農場事業を開始**

（東京都が施設等を設置、財団が研修事業を管理運営）

〇令和2年度都政モニターアンケートでは、東京に農業必要が8割、都が力を入れるべき施策は「農業後継者の確保・育成、新規就農者への支援」が7割と最も高い

東京農業アカデミー八王子研修農場の特徴

〇東京都で唯一の公的な研修施設
〇東京で新たに野菜農家になる方を濃密に育成・支援

研修期間
２年間

☆ 実際の野菜作りと経営ノウハウ
☆ 商品づくり・販売先・ブランド化
☆ スマート農業　等々

独立就農に必要な知識や技術等を総合的に習得

少人数制⇔多様なスタッフや外部講師が指導

農業経営者（事業主）を育成！

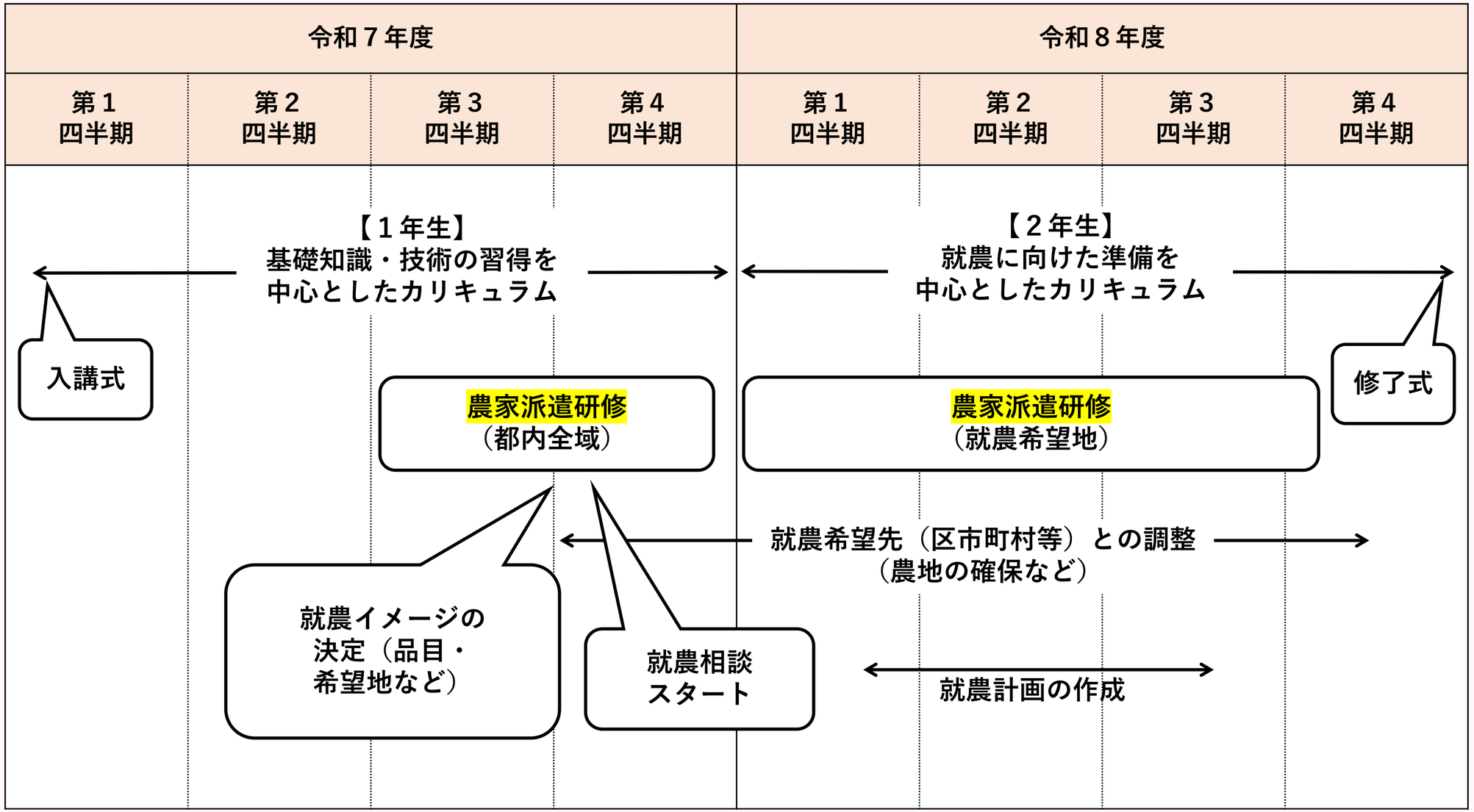
研修終了後に円滑に営農できるような関係づくりまでサポート

東京農業アカデミー八王子研修農場の所在地

⇩八王子駅～研修農場（約2.0km）

Googleマップで検索

○年間の主な研修スケジュール（予定）



時間割

（１年生）

時限	時間	月	火	水	木	金
1	8:50～10:20	実習	実習	実習	実習 派遣研修※	実習 (一部講義)
2	10:30～12:00	実習	実習	実習	実習 派遣研修※	実習 (一部講義)
3	13:10～14:40	実習	講義・演習	実習	実習 派遣研修※	実習 (一部講義)
4	14:50～16:20	実習	講義・演習	実習	実習 派遣研修※	実習 (一部講義)

（２年生）

時限	時間	月	火	水	木	金
1	8:50～10:20	実習	派遣研修※ 実習	実習	派遣研修※ 実習	実習 (一部講義)
2	10:30～12:00	実習	派遣研修※ 実習	実習	派遣研修※ 実習	実習 (一部講義)
3	13:10～14:40	実習	派遣研修※ 実習	講義・演習	派遣研修※ 実習	実習 (一部講義)
4	14:50～16:20	実習	派遣研修※ 実習	講義・演習	派遣研修 ※実習	実習 (一部講義)

１年生は９月以降に火・木を
中心に農家派遣研修※

研修カリキュラム（計画）

- 東京農業の全体像を把握できるような講義内容により、就農イメージを醸成しやすいカリキュラムを設定
- 就農するにあたって、最低限必要な知識と技術を学べるカリキュラムを設定

研修名	１年生	２年生
座学	１２０時間	３６時間
演習	８７時間	２２２時間
外部研修	１５６時間	３００時間
実習	９５７時間	７７１時間
合計	1,３２０時間	1,３２９時間

～座学（講義）～

内　容	１年生	２年生
農業法規	２７時間	９時間
栽培管理	２７時間	－
土壌肥料	１２時間	－
作物保護	２４時間	－
特別講義	３０時間	２７時間
合計	１２０時間	３６時間

- 農地を借りるために必要な知識として農業法規に関する講義
- 野菜を管理する上で必要な知識を習得するための講義
- 東京農業の独自性および特殊性を学ぶための特別講義

～演習～

- 簿記による確定申告を行い、経営を分析する演習
- 農業機械や施設の取扱い・管理方法を学ぶ演習
- ２年間の研修の集大成として、自らが目指す農業経営像をレポートにまとめて報告する演習

内　容	１年生	２年生
農業経営分析設計	（経営理念等） ２７時間	２１時間
農業機械・施設管理演習	２１時間	－
作付計画の立て方	３６時間	－
就農準備・就農計画作成	－	４８時間
研修成果レポートの作成	－	１４４時間
合　計	８４時間	２４３時間

～外部研修～

- 都内の農家や卸売市場等を視察し、東京農業の現状を知り都内での就農イメージの醸成を図る
- 指導農業士※等の下で農業経営および農家生活を体験することで、就農イメージの醸成を図ると共に、就農希望先の関係者との交流を深める

※指導農業士とは、各地域で青年農業者の育成・指導に取り組む先進的な農業者のうち、知事が認定する者のこと。

内　容	１年生	２年生
視察研修	２１時間	２４時間
農家派遣研修	１３５時間	２７６時間
合計	１５６時間	３００時間

～実習～

- １年生の共同実習では、栽培指導員から都内で栽培されている主野菜（約20種類）の基本的な栽培管理技術をしっかりと学ぶ
- ２年生の経営実践型実習では、栽培指導員と相談しながら、就農後を見据えて研修生個別に作付計画を立て、主体的かつ実践的な栽培実習を行う

  →研修成果レポートに、栽培結果と経営分析を反映させる

内　容	１年生	２年生
共同実習	９５７時間	－
経営実践型実習	－	７７１時間
合　計	９５７時間	７７１時間

多様な講師陣

◉都内の指導農業士や先進的農家
◉ＪＡ東京中央会　都市農業支援部　地域農政課
◉（一社）東京都農業会議　業務部
◉（一社）東京都農業会議　経理・担い手担当
◉（一社）東京都農業会議　地域振興コンダクター
◉ＪＡ全農東京　生産事業部
◉ＪＡ全農東京　生産事業部　生産資材課
◉ＪＡ全農東京　農機サービスセンター
◉安心農業株式会社
◉株式会社やまびこもしくは株式会社丸山製作所
◉株式会社クボタ
◉ＮＯＳＡＩ東京　事業課
◉麻布大学　動物行動管理学研究室
◉咲楽ＡＧＲＩ税理士法人　税理士
◉General Management Office　中小企業診断士
⊙アグリコネクト（株）コンサルティング事業部
⊙コマツ教習所（株）
⊙安心農業（株）

◉その他適宜調整
・デザイン・ブランディング会社
・ＪＡ直売所担当、学校給食事業担当
・スーパー関係者、EC事業者
・都内先輩新規就農者など

◉東京都関係部署
・東京都農林水産部農業振興課　企画調整担当
・東京都農林水産部調整課　制度金融担当
・東京都農林水産部農業振興課　園芸緑化担当
・東京都農林水産部食料安全課　生産環境担当
・東京都農業振興事務所　技術総合調整担当
・東京都家畜保健衛生所　肥飼料検査センター

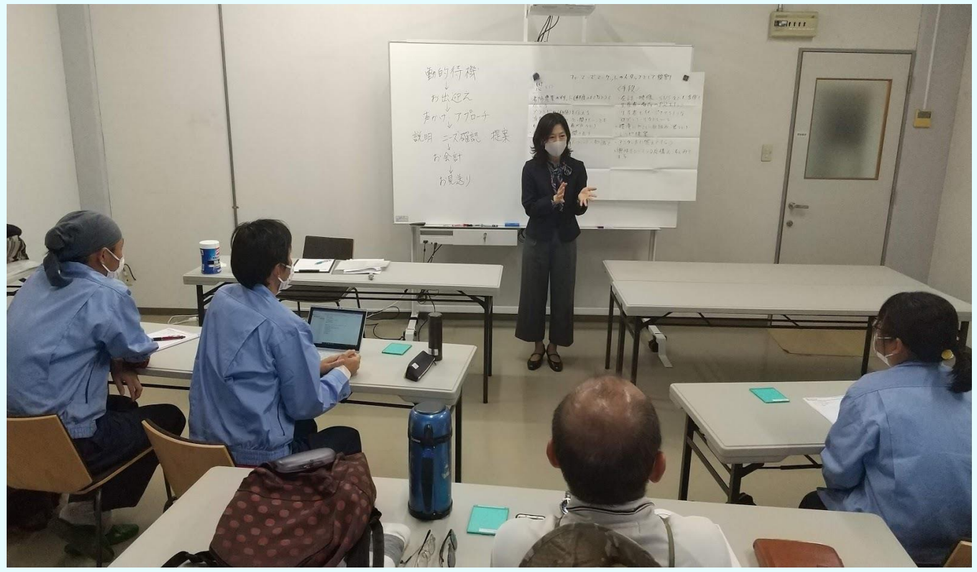
◉農林水産振興財団
・東京都農林総合研究センター
　園芸技術科、生産環境科、スマート農業室等

◉八王子研修農場（令和７年度）
指導員（農場長含）：4名
指導員補佐（技能）：３名
固有職員（事務）：１名
アシスタント職員：５名

栽培実習の様子

夏野菜み

■演習等の様子



座学、農家派遣、販売、視察研修等の様子

VEGETABLES
野菜
枝豆
有マルカネ
とうもろこし

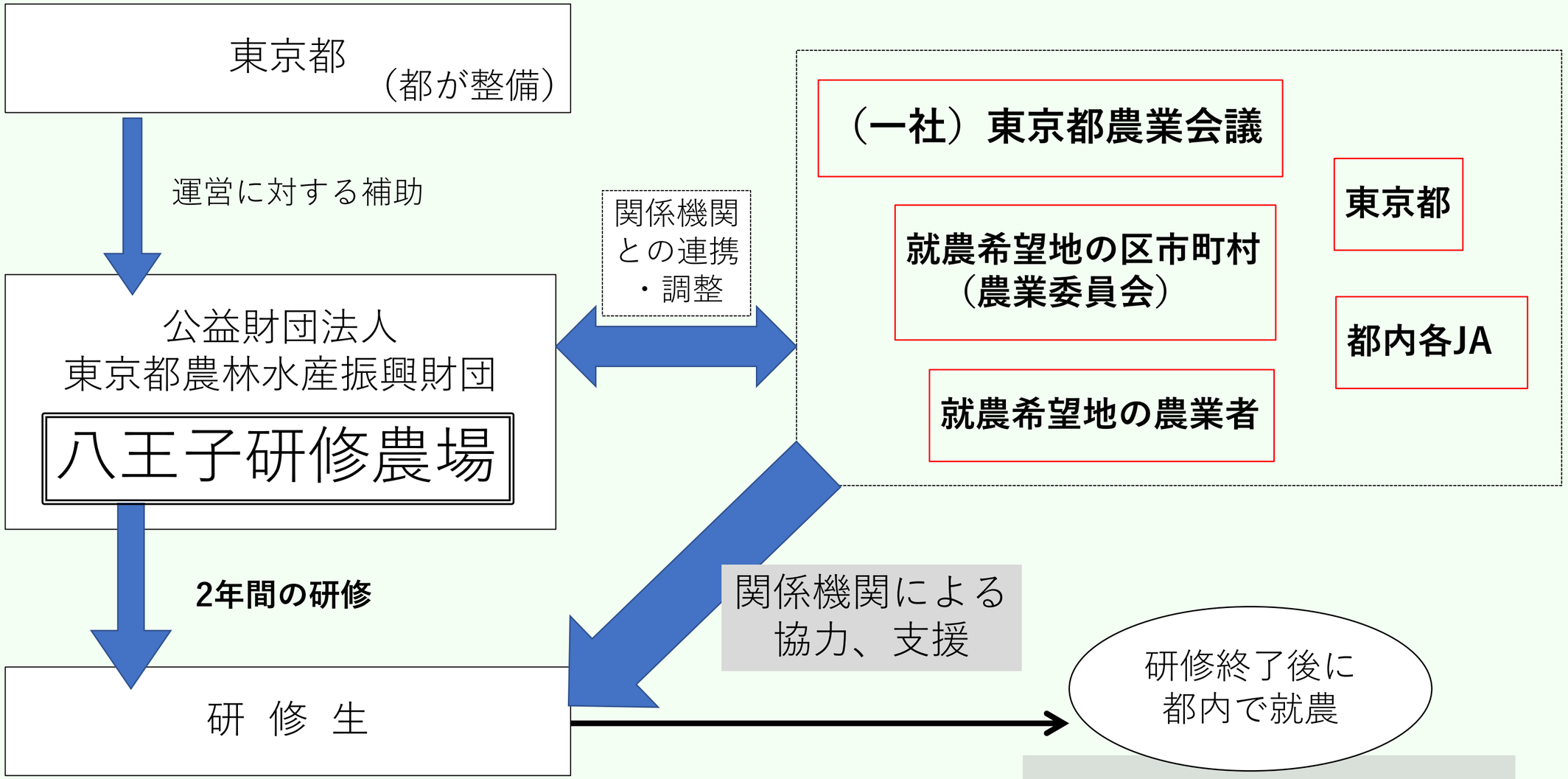
ミニトマト 200
ヤングコーン 200
スイートコーン 150
スイートバジル 100
スッキーニ 150
なす 180

～東京農業アカデミー八王子研修農場の研修生～

〈就農までのステップ〉

2年間の研修では、段階を踏みながら将来像を具体化し、
東京で就農後に円滑な経営を行うことができるように
サポートします。

～ 研修中に就農希望地を選定するまでには ～



～東京農業アカデミー八王子研修農場の研修生たち～

第１期生（2021年度修了）

氏名	年齢	就農地、面積
Ａさん	27	武蔵村山市（約40a）
Ｉさん	54	西東京市（約70a）
Ｓさん	30	小金井市、武蔵野市（約30a）
Ｔさん	54	あきる野市（約40a）

第２期生（2022年度修了）

氏名	年齢	就農地、面積
Ｋさん	42	日の出町、あきる野市（約70a）
Ｓさん	40	あきる野市（約40a）
Ｓさん	40	日野市（約11a）
Ｎさん	27	国立市（約18a）
Ｙさん	47	八王子市（約50a）

第３期生（2023年度修了）

氏名	年齢	就農地、面積
Ａさん	45	八王子市(約20a)
Ｓさん	25	瑞穂町（約75a）
Ｔさん	33	小笠原村(約15a)
Ｔさん	39	東村山市(約55a)
Ｎさん	40	八王子市（約30a）

第４期生（2024年度修了）

氏名	年齢	就農地、面積
Ｉさん	39	青梅市（約30a）
Ｋさん	36	町田市（約55a）
Ｋさん	47	八王子市（約20a）
Ｓさん	46	立川市（約26a）
Ｙさん	26	武蔵村山市（約46a）

八王子研修農場からの様々な情報発信

◎**ホームページ**・・・研修農場新聞も掲載

◎**Ｆａｃｅｂｏｏｋ**

◎**Ｘ（旧Ｔｗｉｔｔｅｒ）**

◎**Ｉｎｓｔａｇｒａｍ**

◎**ＹｏｕＴｕｂｅ**　　◎**LINE**

東京農業アカデミー八王子研修農場　検索

令和７年度共同圃場の夏野菜栽培計画
第1農場
（共同圃場）
タマネギ
コーン
キュウリ
ジャガ
トマト
エダマメ
ソルゴー
ナ　ス
ネ　ギ
ソルゴー
第３農場
（エコ圃場）
ライムギ
サトイモ
第２農場
（区画圃場）
Google

研修農場からのメッセージ

◎東京農業アカデミー八王子研修農場では、社会経験や年齢などが異なる研修生達が都内で新規就農できるよう様々な栽培技術や知識等の研修を行っています。農業に対する想いや、理想とする農業のかたちは人それぞれですが、研修生達の考えを受入れ、互いに協力しあい、有意義な研修生活が送れるよう努めてまいります。

◎東京の農業振興や地域の活性化、農地保全のためにも新たな担い手の確保・育成は重要です。しかし、農外からの就農希望者が、都内で農地を借りて就農し、一定の収入を上げ続けることは大変なことです。区市町村をはじめ、農業団体や関係機関、農業者等の協力がなければ新規就農は困難ですので、関係する皆様方のご理解とご協力・ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

また、東京で農家になりたい方にぜひ研修農場をご紹介いただければ幸いです。

ご清聴ありがとうございました
R7.4/8